

子どもいじめ防止センターだより

7号

ハートフル  
～きこえる いっしょに考えよう～

三木市子どもいじめ防止センター  
平成27年 12月発行



今回は『家族』について考えてみましょう。

『家族』とは、親子や兄弟姉妹だけでなく、一緒にご飯を食べたり、語り合ったり、またある時はケンカをしたりして、日々の生活を共にし、困ったときはお互いに助けあい、心配しあう人々の集まりであってほしいと思います。



私が悩んでいたときに私の家族に涙は見せたくないという理由で1人で部屋で泣いていたら、お母さんがそれに気づいてたくさん声をかけてくれました。そのなかでも私を抱きしめて一緒に泣きながら「1人で部屋にとじこもって泣かなくて。家族みんなの前で泣けとはいわないから、1人でかかえこまんといて。じゃないとママもつらくなるから」と言われました。



家族一人でも異変を感じるものがあたら気づいてあげたいと思いました。それと将来お母さんのようなお母さんになりたいと思いました。M.O(16歳)

じんけんリーフレット

「市民が創る まあるいココロ あったかメッセージ '15～あなたを変えたひとつの涙～」  
(三木市人権・同和教育協議会)より



M.Oさんの「家族一人でも異変を感じるものがあたら気づいてあげたい」という言葉に、一番近くで見守っていて、困ったときにそっと手を差し伸べる家族の姿を思い浮かべました。



三木市子どもいじめ防止センター

電話: 0794-82-8110

三木市福井 1933-12 三木市教育センター3階

☆年末年始のおしらせ☆ 12月27日から1月4日はお休みです☆

相談日: 月曜日～土曜日

時間: 午前9時～午後5時まで

日曜日・祝日はお休みです。

# かぞく そうだん 家族に相談しましょう

平成25年に子どもいじめ防止センターがおこなった調査によると、「いじめられたときに相談する相手は誰ですか。」の問いに、児童生徒のみなさんと保護者が一番多く回答したのは「家族」でした。

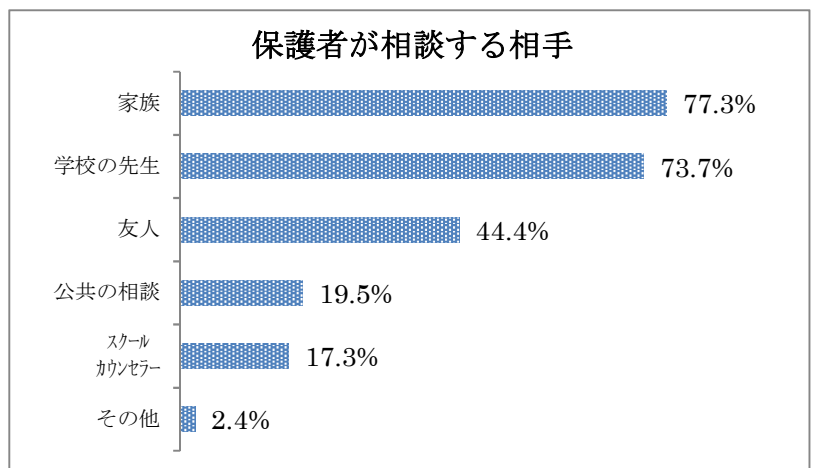
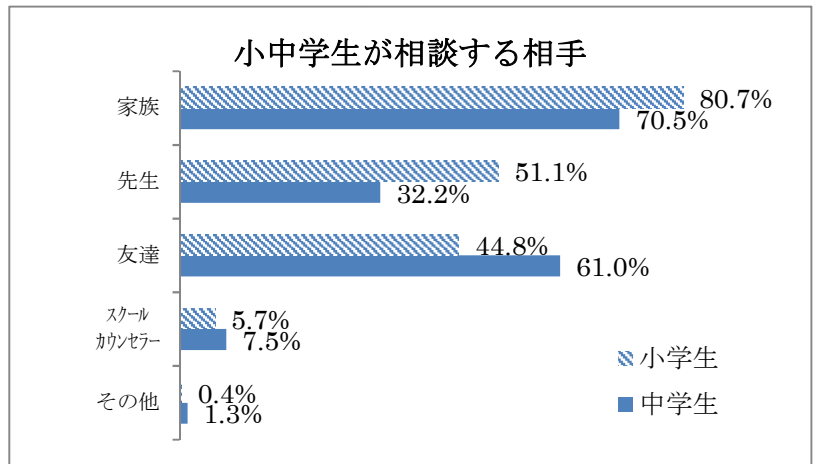
家族は一番近くにいて、一番長い時間をいっしょに過ごしてきた人たちです。あなたが悩んでいると知ったらきっと力になってくれます。そして、話してほしい、相談してほしいと思っています。

いじめをはじめ、色々な悩みを解決する方法はさまざまですが、「家族に相談する」ことは有効な方法の一つです。

**「明日もいじめられる」  
と悩んでいるあなた。  
いじめを見て見ぬふり  
をしているあなた。  
いじめをやめられない  
あなた。**

勇気を出して、家族に話してみませんか。  
どうしても家族に言えないときは、学校の先生や、友だち、近所の方・・・見守り、支えてくれる人たちはたくさんいます。  
一人で悩まず、誰かに話しましょう。

## いじめられたときに、相談する相手はだれですか



私が生きているのがしんどくて死にたいと  
思っていることをうちあげたときに  
お母さんが泣いて怒ってくれた時

こんな何してもうまくできない私が死にたいと言っただけであんなに泣きながら怒ってくれるとは思ってなかったから少しびっくりしたけど、私は生きててもいいんだなと思えるようになった。  
J (14歳)

じんけんリーフレット

市民が創る まあるいココロ あったかメッセージ '15～あなたを変えたひとつの涙～

(三木市人権・同和教育協議会)より

# がっこう ほうもん 学校を訪問しました



9月から市内の小・中学校を訪問しています。

訪問して一番うれしく感じることは、どこの学校へ行っても、すれ違う時に「おはようございます」「こんにちは」と大きな声で元気なあいさつをして迎えてくれることです。みなさんのあいさつは、少し緊張していた私の心をさわやかな気持ちにしてくれるとともに、大きな力を与えてくれます。

学校訪問では、みなさんの様子や、地域の人たちとの関わりなどがたいへんよく分かります。みなさんがいじめで悩むことがなくなるように、笑顔と元気の輪がもっともっと広がるように、私もみなさんと一緒に歩んでいきたいと思います。

こんにちは。  
子どもいじめ防止センター  
相談員の右田です。  
悩みがあるときは気軽に  
相談してくださいね。



## 出かけます

### でまえみにこうざ 「出前mini講座」

子どもいじめ防止センターでは、いじめの防止と早期発見のため、サークルやPTA、自治会など地域のみなさまに向けて、30分～1時間程度の講座を開催しています。



10月6日には、緑が丘町公民館の乳幼児教室でmini講座を実施しました。当日は、多数のお子さんとお母さんの参加を頂き、当センターの紹介や、いじめの現状と正しい理解、いじめを未然に防ぐためには地域全体で考えていくことが必要だということをお話させていただきました。



みなさんも、『いじめ防止』について一緒に考えてみませんか？

mini講座のお申し込みは、

子どもいじめ防止センター ☎0794-82-8110 まで

# 本のしょうかい

## みんなのためのルールブック

あたりまえだけど、とても大切なこと

訳作  
ロン・クラーク  
亀井よし子

作者であるロン・クラークさんはアメリカの小学校の先生です。この本では子どもたちに向けた、50の大切なルールについて書かれています。50のルールは、主にロン・クラークさんが子ども頃におばあさんから教わった礼儀作法を紹介したものです。みなさんがお互いに思いやりを持って、楽しく勉強できるように、そして大人になってからも毎日を大切に、そして、いきいきと人生を生きてほしいという願いが込められています。

たとえば、「誰であれ、仲間ははずれない。」というルールがあります。それには「たとえあまり好きになれなくても、どんな人にもやさしさと敬意をもって接し、仲間に入れよう。」と、分かりやすい言葉で説明されています。他にも「もしいじめられたら先生に知らせよう」「したいことがあるのなら、やってみよう」



などのルールがあります。

紹介されているルールがどれもあたりまえすぎて「なにを今さら・・・」と思うかもしれません。「自分ではできているかな」「家族はできているかな」というように思いながら読んでみると、新しい発見があるかもしれません。

ルールを連想させるインパクトのあるイラストも印象に残る本です。

「きいて、今日こんなことがあった！！」「大人に伝えたいけど・・・自信がない」「子どもの様子が気になる」「これぐらいの事で相談したら・・・」などそんな悩みや不安があるときは、いつでも気軽に『子どもいじめ防止センター』に相談してください。ひとりで悩まずに、だれかに相談することで気持ちが楽になりますよ。秘密は必ず守ります。



三木市子どもいじめ防止センター  
電話: 0794-82-8110

☆ 12月27日から1月4日はお休みです ☆

